

# 初心者のための、カウンセリングで語られる夢の読み方・扱い方

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2021年1月16日(土)・17日(日)

受講対象:心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、および興味のある方

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付します

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

★★★★★ ご企画・講義 ★★★★★ 学習院大学文学部 教授 川寄 克哲 先生

フロイトやユングに代表される「深層心理学派」において、夢は心理治療の中で中核的な位置を占めています。そこでは治療者が積極的に来談者に夢の報告をうながし、語られた夢に関してさまざまな話し合いがなされ、それを起点に治療過程が進んでいきます。

しかし、治療者がことさら夢分析を行おうと思っているわけではなくとも、カウンセリングの中で来談者が「この前、ふしぎな夢を見て…」などと自発的に夢を語ることは案外多く、皆様もご経験があるのではないのでしょうか。いろんな事例を聞かせていただく機会が多い私の経験からすると、このような自発的に夢が語られる事例は治療的に展開することが多いように感じます(これは、たぶんそういった来談者が「無意識」に開かれているからでしょう)。そのような事例を聞くと、「やはり夢は治療的な意味があるなあ」という思いを改めて強くする一方で、「ちょっともったいないなあ」という思いが生じることもよくあります。もったいないというのは、そのような夢が語られたときに、治療者がその夢の意味をもう少し理解し、その夢にコミットすることができていたならば、さらに治療的な展開が見込まれたであろうというような事例が多いからです。

そのため、本講座では、夢に関心がありながらもあまりなじんでおられない「夢分析初心者」の方を主に対象にして、夢は心理療法においていかなる意義をもっているのか、夢をどのように読むか、さらには来談者との間で夢をどんな風に扱えばいいのか、などに関して基礎的なことから検討していきたいと思えます。「夢」はちょっと敷居が高い感じがするという人も多いようですが、考えてみればこれは夢にかぎらず、心理療法一般に言えることです。初心の人だから心理療法に関わることはできないということはないわけで、初心ながらも懸命に治療に関わっていくことで来談者の役にも立ちうるし、また自身の成長にもつながっていくわけです。これは夢に関しても同様です。本講座では、高いと感じられる敷居が少しでも低くなるように、夢に関して基本的なことから具体的に説明していきたいと考えています。

夢のことがわかると、来談者の通常の語りも夢を聞くように聞くことができるようになり、さらには、来談者の語りそのものが本質的には「夢」と同じであることが理解できるようになると思えます。このように、夢を理解することは、心理療法にとつての「マスターキー」であり、かぎりなく応用範囲が広がる基盤となるといえましょう。 【川寄 克哲】

※プログラム・時間について…2日間とも開始・終了時間以外は一応の目安で、適宜変更いたします。

	日程	時間	テ マ
プ ロ グ ラ ム	1/16 (土)	13:00~13:50	1)夢とは何か ー古代の夢観と近代の夢観ー
		14:00~15:20	2)夢の機能(補償機能、魂の要請と自我の抵抗)
		15:30~17:00	3)夢のシリーズに見る夢見手のテーマと治療的展開
1/17 (日)	10:30~12:00	4)夢文法と夢解釈	
	昼 食 (各自おとりください)		
	13:00~14:20	5)夢を現実の話のように聞き、現実の話を夢のように聞く	
		14:30~16:00	6)まとめ ー具体的な夢の事例を通してー

## ●受講生の方からの事例を募集いたします!

夢が治療経過の中で出てくる事例を募集しています。夢の数は1つでも2つでもかまいません。是非ご提供ください。申込書の「事例提出希望欄」に○印をつけ、日中連絡が可能な方法を必ずご記入のうえ、お申込みください。事務局から提出方法をご連絡いたします。なお、時間的制約等で採用されない場合もありますので、予めご了承ください。